

これまでの合併特例債の使い道と今後の予定をお知らせします

合併特例債は、笠間市総合計画に基づいた事業で、市の一体性を高めたり、均衡ある発展や住民福祉の向上を実現したりするため、特に必要な事業に活用しています。

具体的には、旧市町を結ぶ道路の整備や地域の発展に必要な駅周辺の整備、小中学校などの耐震化や児童クラブの整備など市民の生活に身近な事業に活用しています。平成18年度から平成21年度（予定）までの4年間で道路の整備や学校の耐震化などに約56億円を活用しています。

今月号では、これまでの合併特例債の主な使い道や今後の予定についてお知らせします。

合併特例債とは

合併特例債とは、合併した市町村が、新しいまちづくりのため、新市建設計画に基づいて、特に必要な事業の財源として借り入れることができる地方債（借入金）のことをいいます。

合併特例債の活用は、合併初年度を含む10か年度（笠間市では平成27年度まで）に限られます。

なお、活用する事業費のおよそ95%（充当）まで借り入れることができます。借り入れた地方債の将来支払う元利償還金の70%が普通交付税によって措置されます。

平成18年度の使い道

新しい笠間市が平成18年3月19日に誕生し、平成18年度から、旧市町を結ぶ道路や老朽化が進んでいた小中学校の耐震補強などの事業がスタートしました。

主な道路整備事業

- 友部1級12号線 1億3,460万円
- 岩間1級12号線 950万円
- 大洲飯田線 4,750万円
- 岩間八郷線 4,750万円

学校耐震補強事業

- 友部中学校

18年度 2億6,160万円
19年度 3億2,740万円
平成18年度は、これらの事業などで合計7億2,220万円を活用しました。

平成19年度の使い道

平成18年度から実施していた友部中学校の耐震補強が完了しました。市内小中学校8校に約100基のトイレを整備し、全ての小中学校に洋式トイレを設置しました。また、地域の発展のため岩間駅周辺整備事業に活用しました。



耐震補強された友部中学校

都市整備事業

- 岩間駅周辺整備 2億3,940万円

主な道路整備事業

- 上町大沢線

8,360万円
○笠間小原線
18年度 3,700万円
19年度 4,750万円

平成19年度は、これらの事業などで合計10億290万円を活用しました。

平成20年度の使い道

昭和42年に建設された岩間中学校の改築や友部中学校体育館の耐震補強に活用しました。また、南小学校の児童クラブ整備や合併により大きなスペースが生じていた岩間支所に子育て支援センターとポランティアセンター、公民館および図書館を整備し、名称も「市民センターいわま」としました。



南小中学校児童クラブ

学校整備事業
○岩間中学校
19年度 3億 310万円
20年度 6億3,230万円

○友部中体育館 2,190万円

主な道路整備事業

- 南友部平町線 1億8,510万円
- 友部2級10号線 1億2,150万円
- 友部池野辺線 9,500万円

都市整備事業

- 岩間駅周辺整備 4億4,420万円
- 稲田駅前トイレ整備 970万円

平成20年度は、これらの事業などで合計16億8,380万円を活用しました。



市民センターいわま

平成21年度の使い道

旧市町を結び市道友部1級12号線並びに市道岩間1級12号線、岩間八郷線、友部池野辺線など複数の幹線道路が開通する予定です。また、岩間中学校の改築が完了し、2学期から新しい校舎で授業が行われています。



完成予定の市道1級12号線

主な道路整備事業

- 岩間八郷線 1億6,980万円
- 友部池野辺線 1億6,130万円
- 友部1級12号線 1億5,170万円
- 大淵飯田線 1億1,720万円

都市整備事業

- 岩間駅周辺整備 2億 160万円
 - 穴戸小学校児童クラブ整備 1,970万円
- 平成21年度は、これらの事業などで合計約21億円の合併特例債の活用を予定しています。



岩間中学校の新校舎

今後の使い道

進めてきた幹線道路の整備や岩間駅周辺整備などに活用する予定です。
また、学校の耐震補強は、耐震診断調査を踏まえて計画的に実施し、小中学校と幼稚園並びに給食施設などへの活用を予定しています。

主な道路整備

- 来栖本戸線 約4億7,000万円
- 南友部平町線 約3億7,000万円
- 上町大沢線 約2億9,000万円
- 笠間小原線桂町工区 約2億3,000万円

都市整備事業

- 岩間駅周辺整備 約6億2,000万円
- 岩間駅東大通線 約3億4,000万円

合併特例債は、合併後10年の限定的な制度です。今後の活用については、合併特例債も借入金であることに変わりはありませんので、真に必要なものを厳選し、有効に活用していきます。

【問合せ】

財政課 内線217



合併特例債を活用した事業一覧

道路整備事業 4,369.3百万円 (単位：百万円)

事業名	事業年度	事業費	予定借入額
笠間小原線	H18~H19	178.0	84.5
大淵飯田線	H18~H21	595.0	296.7
友部池野辺線	H18~H21	557.0	293.3
友部1級3号線	H18~H21	356.8	188.9
友部1級12号線	H18~H21	941.4	459.1
友部2級10号線	H18~H21	543.1	274.5
岩間1級12号線	H18~H21	174.9	102.3
岩間八郷線	H18~H21	531.2	297.9
上町大沢線	H18~H23	500.0	473.8
南友部平町線	H18~H27	1,250.0	787.1
来栖本戸線	H19~H26	1,200.0	558.2
友部1級5号線	H21~H24	300.9	129.5
友部1級8号線	H21~H22	68.2	29.2
友部1級11号線	H21	40.8	17.8
才木友部線	H21	220.5	94.5
荒町駅前線	H21	38.5	16.6
寺崎飯田線	H21~H23	70.6	30.3
笠間小原(桂町工区)	H21~H25	550.0	235.1
小計		8,116.9	4,369.3

都市整備事業 1,948.6百万円 (単位：百万円)

事業名	事業年度	事業費	予定借入額
岩間駅周辺整備	H18~H22	2,791.0	1,591.1
岩間駅東大通線	H21~H27	830.0	347.8
稲田駅前	H20	31.5	9.7
トイレ整備			
小計		3,652.5	1,948.6

林道整備事業 24.5百万円 (単位：百万円)

事業名	事業年度	事業費	予定借入額
林道本戸前山	H20~H21	51.7	24.5
舗装工事			
小計		51.7	24.5

学校整備耐震補強事業 1,584.9百万円 (単位：百万円)

事業名	事業年度	事業費	予定借入額
友部中学校校舎	H18~H19	805.6	589.0
大規模改築			
小中学校校舎	H19	34.8	33.0
トイレ整備			
友部中学校校舎	H20	41.5	21.9
屋内運動場			
耐震補強			
岩間中学校校舎	H20~H21	1,391.5	935.4
施設設置			
友部第二小学校校舎	H21	36.4	5.6
屋内運動場			
耐震補強			
小計		2,309.8	1,584.9

その他 92.6百万円 (単位：百万円)

事業名	事業年度	事業費	予定借入額
南小・穴戸小	H20~H21	66.8	45.8
児童クラブ整備			
庁舎整備	H20	55.2	46.8
(市民センターいわま)			
小計		122.0	92.6
合計		14,252.9	8,019.9